

発行責任 六会地区自治会連合会  
連絡先 六会市民センター ☎81-6677

## 【第37回六会公民館ふるさとまつり開催】

<なんと“仮設庁舎”で開催！これはチャレンジだ！新たなチャンスに(石川方面)！>

- 10月18日・19日と2日間にわたり、第37回六会公民館ふるさとまつりを六会市民センター（天神町仮設庁舎）で開催します。

ふだんは地域活動しているいろんな団体が、この日ばかりはお堅い殻を脱ぎ捨てて、威勢のいい売り子さんだよ～！

「さあ、寄ってらっしゃい、食べてらっしゃい、美味しいよ。」

「買ってちょうだい、ふるさとまつりの限定品ばかりだよ。」

仮設庁舎の中はといえば、目から鱗の展示パネルがあっちこっち。

「へえ～、こんなの珍しいねえ。」

「ふふっ、この絵、素敵だねえ。」

おやおや？ イベントスペースで何やら始まったぞ。

「早く行こうよ。楽しそうだよ。」「おばあちゃん、一緒に見に行こうよ。」



<声を掛け合ってお出掛けください>

- 六会日大前・西口からバスで：土日の昼間は毎時10分、30分、50分発です。

PASMO や Suica 使えます。バスルートは気にしないで乗っちゃおう。

降車は「3号西」・「天神町会館前」（西廻りバス）、「天神町3号」（それ以外のバス）のいずれかです。

- お車で：臨時駐車場、たっぷりあります。天神町会館の側が入口です。

## 自治会紹介【旭ヶ丘町内会】（会長：白垣 一久）

旭ヶ丘町内会は、昭和37年4月に町内会会則が制定され、それ以降それぞれの時代背景を踏まえた先人たちの御苦勞で町内会運営を行ってきました。

会則制定から50有余年が経過したとても歴史のある古い町内会です。

旭ヶ丘町内会は現在300世帯近くの会員がおりますが、お陰様でほとんどの住民が町内会に加入し、加入率が高い自治会です。

町内会の運営は、会員からの町内会費（月額300円・年額3,600円）及び藤沢市からの市民組織交付金、資源協力金などにより賄われ、事業活動を進めています。

平成9年度の会則改正で自主防災規程を制定し、年1回の防災訓練を行ってきましたが、今年度に自主防災体制を見直し、特に、東日本大震災3.11を教訓として自主防災体制の整備

（裏面に続く）

・強化を図ることについて検討を重ね、防災・減災訓練を通して、情報班はじめ避難誘導班、救護班、消火班、給食班それぞれ各班の知恵と工夫で自主防災全体計画を策定するなど、今後の具体的な活動指針を構築していきます。

これまでの活動の主なものは、特別委員会の設置による町内への都市ガスの導入、ボランティア組織や旭友の会（満60歳以上の会員）の立ち上げ、福祉電話の導入（NTT福祉電話の活用：ペンダントを触ることで隣近所へ異常を知らせる電話通報が可能）などが挙げられます。

また、平成9年当時、福祉活動や防災活動に資する資料作成のため、昼間人口の調査（昼間の時間帯に災害が起きた場合の想定）を行いました。前回調査から相当時間が経過しているため、今後、個人情報保護を考慮したデータの更新をする必要があります。

住民の高齢化と厳しい社会情勢の中で、町内会の活動が思うようにはいかず大変難しい状況にありますが、徐々に若い世代の新規会員が増え少しずつ活気を取り戻してきました。

今後は、若い世代へ円滑に町内会運営を引き継げるよう、年間の活動を通して心の触れ合いを深めていくことが重要です。

旭ヶ丘町内会は、町内会館や祭りなどを行う広場・公園がなく、これが大きな課題ですが、前向きで建設的な意見を住民からたくさん出していただき、住みよい活気のある町内会を作っていきたいと考えています。



鵜沼海岸・地引網の様子



ふれあい祭りの様子

